



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発行者 組織情宣部
2024年6月2日 No.777

2024年度夏季手当追加支給

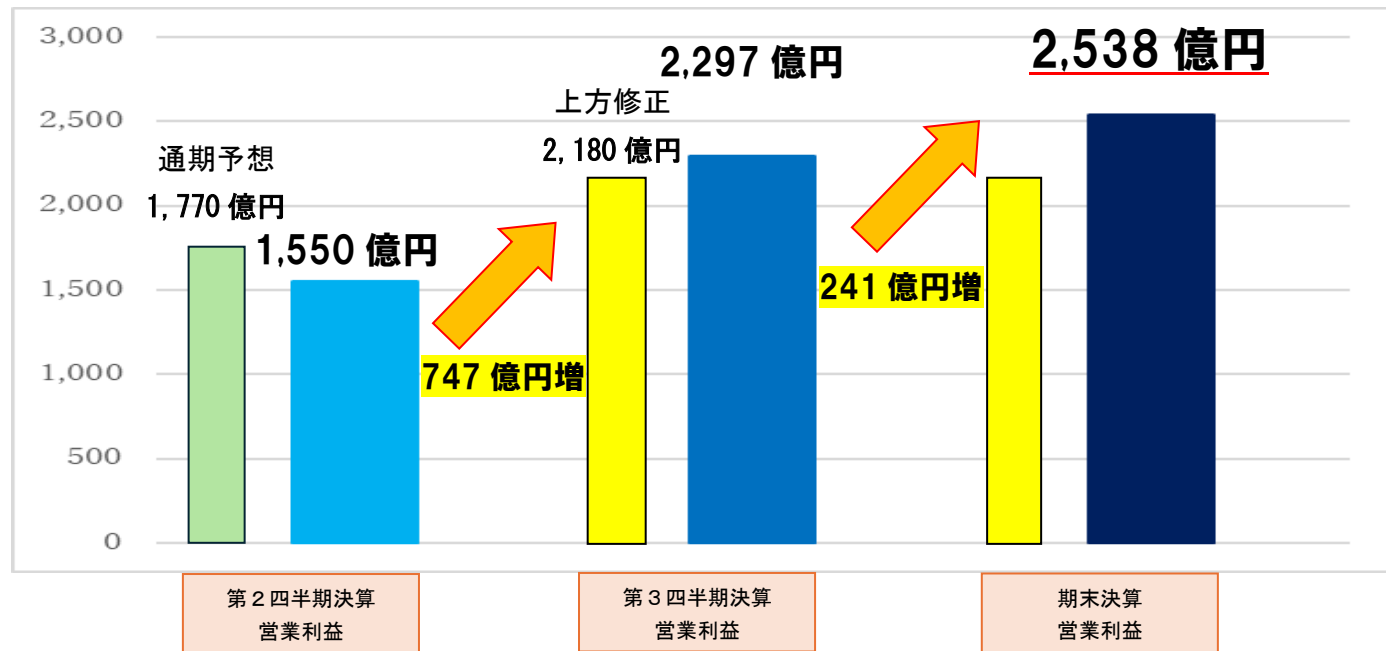
好業績をつくりだした全社員への成果配分を求める！

経営側は、これまでの期末手当の団体交渉において「未来の業績に対して判断するものではなく、あくまでも直近の業績に対して判断する」との認識を示してきました。

2024年3月期「第3四半期決算」(単体)の営業利益は2,297億円、対前年比279.3%と大きく利益を上げた中で、2024年度夏季手当の支給額を2.7ヶ月としました。しかし、2024年3月期「期末決算」の営業利益は対前年比279.1%と、1月に上方修正した2,180億円の計画を大きく上回る2,538億円となりました。

しかし、2024年度夏季手当には経営側がいう「直近の業績」が反映されていません。

2023年度 四半期ごとの営業利益(単体)の推移



期末手当 支給月数	2023年度年末手当 2.65ヶ月+50,000円	2024年度夏季手当 2.7ヶ月	追加支給1.0ヶ月 (要求)
--------------	------------------------------	---------------------	-------------------

足元の業績も好調！経営側は社員の奮闘に報いるべきだ

GW輸送も好調に推移し、直近の「鉄道営業収入」も対前年比106%と足元の業績も好調です。私たちは統括センター化による勤務エリアの拡大や乗務員の相互運用など、社員一人ひとりの業務量が増加する中でも、日々の安全・安定輸送を担い、さらには鉄道オペレーションのコスト削減にも取り組んでいます。また「みどりの窓口の削減計画を凍結する」と発表されていますが、多くのお客さまで窓口は混雑しており、現場社員はお客さまへの案内業務に苦慮しています。まさに今ある成果は、業績という数字に表れない日々の社員の成長と努力によってつくられているのです！

**JR東日本で働く社員のみなさん！夏季手当はまだ終わっていません！
成果配分として夏季手当への追加支給を勝ち取ろう！**